

ヤエヤマヒルギ

か めい
科名 ヒルギ

べつ めい
別名 オオバヒルギ
シロバナヒルギ

がくめい
学名 *Rhizophora stylosa*



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶん
分 布 みやこじま 西表島、
いりおもてじま 石垣島等

は かたち
葉 の 形 だえんけい ちようだえんけい
楕円形、長楕円形

は ぶち
葉 の 縁 ぜんえん
全縁

は さき
葉 の 先 どんけい
鈍形

は しゅるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた たいせい
葉 の 付方 対生

は き ぶ えいせんけい
葉 の 基部 鋭尖形

み しゅるい たいせいしゅし
実 の 種類 胎生種子

はな がくいろ しろいろ
花 ・ 萼 色 白色

せつ 説
めい 明

マングローブ林の中では下流部に生育し、西表島の全域でよく見られます。花は白色で萼が4枚です。実の長さは約20cm、径約1cm位の胎生種子となります。地上根は支柱根と呼ばれるタコ足状の根を多数広げ、強風でも幹が倒れないよう丈夫になっています。分布の北限は沖縄本島です。